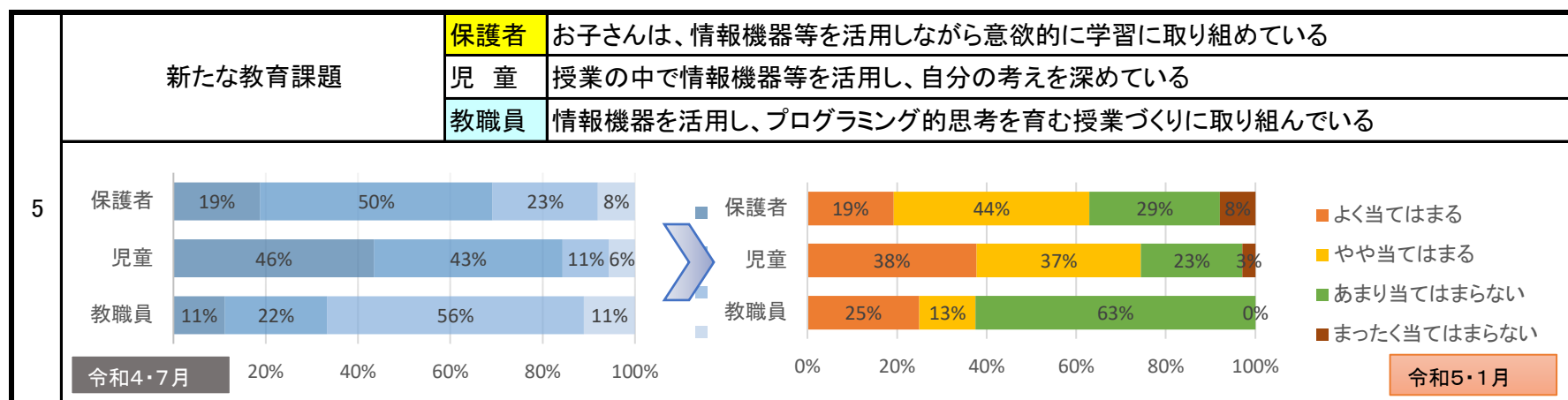


令和4年度 後期学校評価アンケート集計

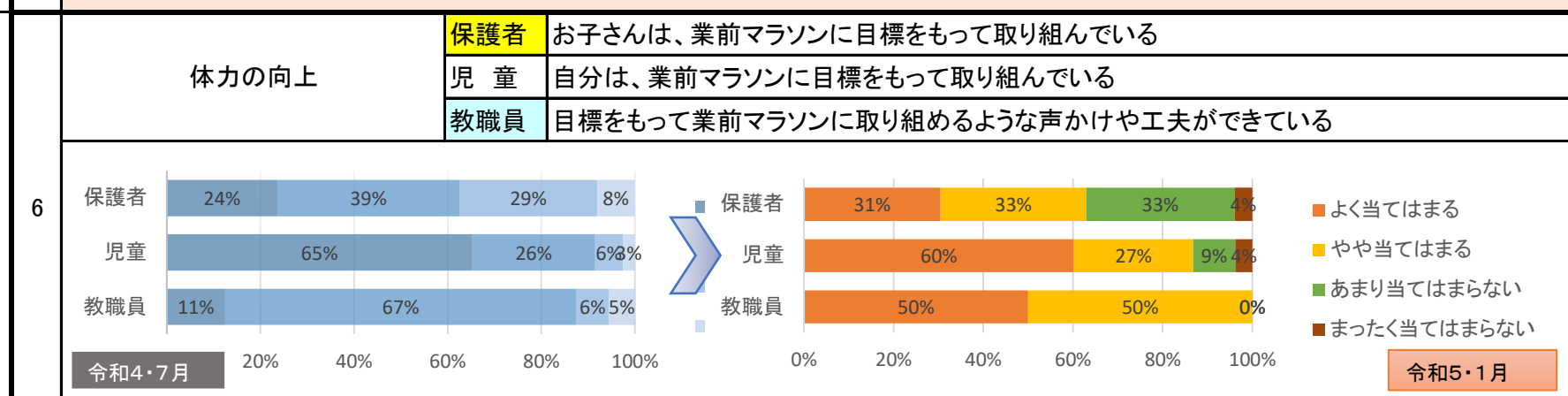
西尾市立一色南部小学校
令和5年1月実施

項目	目標	対象	質問内容
信頼される学校づくり	保護者、地域に開かれた学校	保護者	通信やブログなどを通して学校や学級の指導方針がよく分かる
		児童	先生の話聞いて、自分が何をやらなければならないかがわかる
		教職員	通信などを通して指導方針(学級経営方針も含む)を説明するよう心がけている
1		保護者	
		児童	
		教職員	
			<p>【1】 1, 2学期ともに「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせた割合が80%を超えている。ただ若干、学年が偏ってしまった部分もあるので、偏りなく発信を心がけていきたい。</p>
	全員参加の面白い授業	保護者	お子さんは、自ら進んで学習したり考えを伝えたりしようとしている
		児童	授業の中で自分の考えを進んで発表したり、問題を進んで解決したりしている
		教職員	子どものやる気を引き出し、自ら考え学ぼうとする授業づくりに取り組んでいる
2		保護者	
		児童	
		教職員	
			<p>【2】 教員が感じている認識と保護者・児童の感じている認識とで差のある項目である。1学期より若干の改善はあるが、子どもたちが自ら進んで取り組める面白い授業を展開できるよう教員の研鑽を積んでいきたい。</p>
	基礎学力の定着	保護者	お子さんは、習ったことを繰り返し学習している
		児童	毎日の授業で学習したことをきちんと復習している
		教職員	努力賞テストなどを通して、その学年で身につけるべき学力を定着させている
3		保護者	
		児童	
		教職員	
			<p>【3】 1学期同様に保護者の満足度の低い項目である。子どもたちの実態に合わせ、家庭学習の課題を精選するとともに小テスト等で子どもたちの基礎学力を確実に伸ばしていきたい。</p>
	学びの価値づけ	保護者	お子さんは、自分の目標に向かって努力し、通知表ファイル等で振り返り、次に生かしている
		児童	授業や行事の振り返りから目標を決め、その結果を次につなげて生かしている
		教職員	指導と評価の一本化を図った朱書きを入れ、意欲を引き出している
4		保護者	
		児童	
		教職員	
			<p>【4】 「まったく当てはまらない」という回答が一番多い項目である。授業を終えた後、行事を終えた後の子どもたちの振り返りを大切に、次につなげていけるような教師側の支援を重ねていき、全体の満足度をあげていきたい。</p>

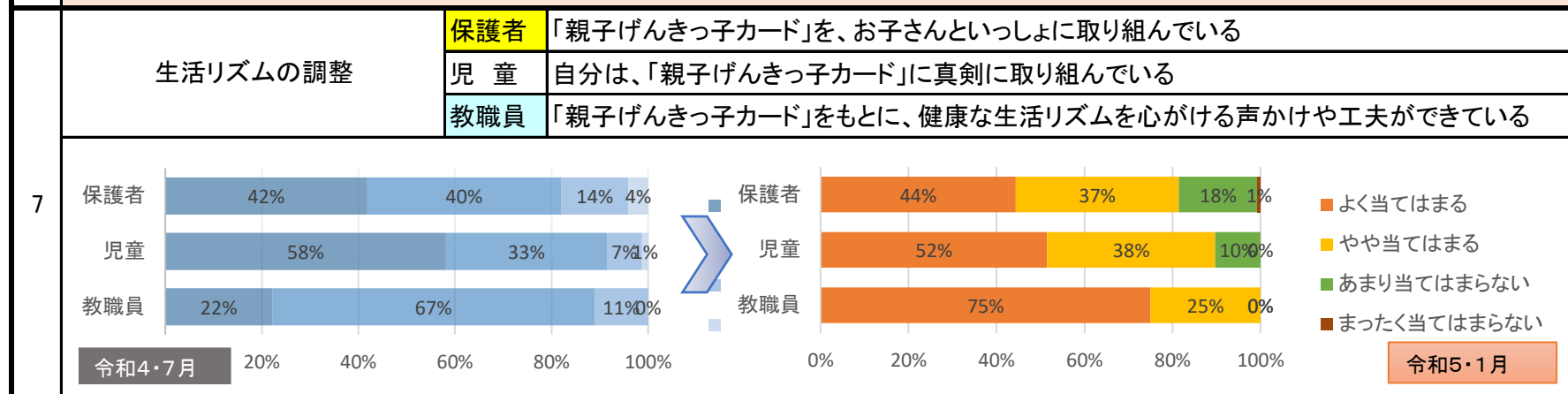
かんがえる



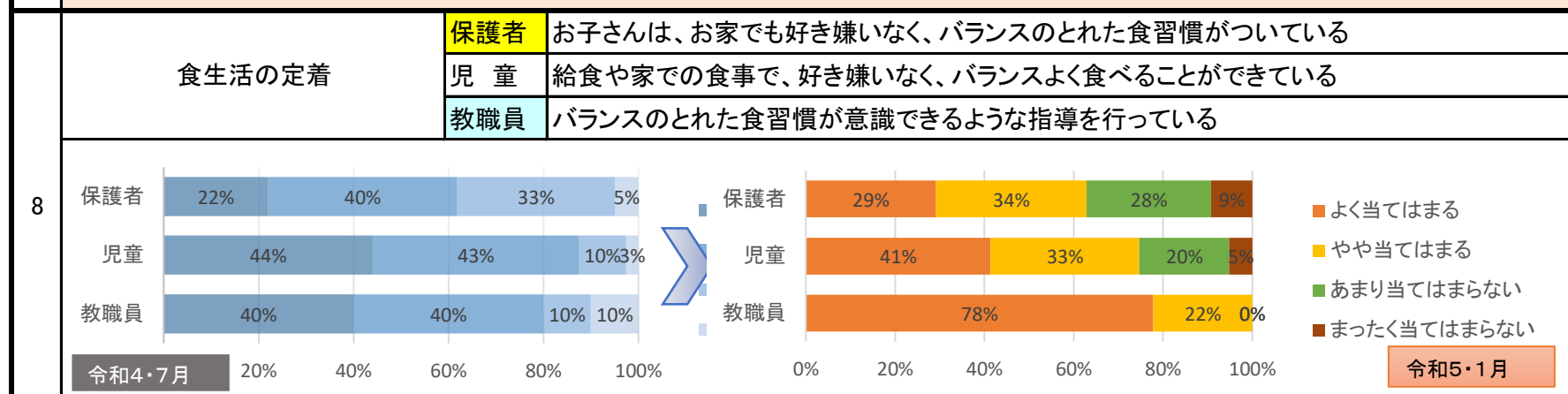
【5】 教職員が、タブレットの活用に若干慣れてきたように思われる。教職員自身も、このようなことができるのではという考えを持ち、活用できている。さらなる研修を積んで、子どもたちによりよい教育ができるように努めていきたい。



【6】 2学期に駅伝大会があったためか、教職員は「よく当てはまる」「やや当てはまる」の回答が増えている。しかし、保護者、児童には、大きな変化が見られない。それぞれの子どもたちが業前マラソンに対して、目標をもって意欲的に取り組めるよう支援をしていきたい。



【7】 「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせた割合が3者とも80%を超えている。それぞれの立場で生活リズムや健康の大切さについて考えるとともに、取り組みの期間だけでなく日常的に意識を高くもてるようにしたい。

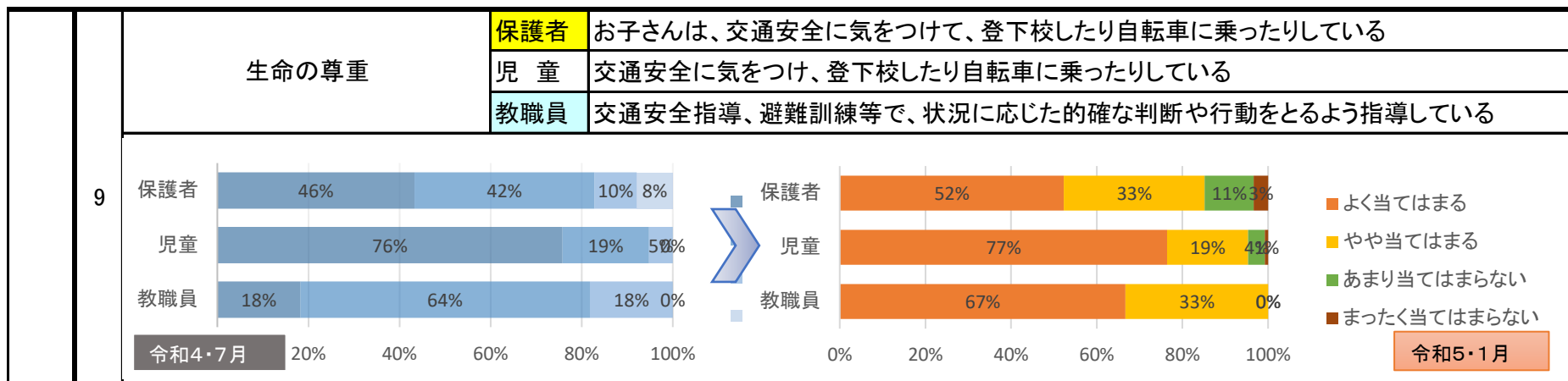


【8】 1学期に比べて「よく当てはまる」と答えた割合が保護者、教職員とも上がっているものの、児童は、「よく当てはまる」と答えた割合が伸び悩んでいる。弁当日への取り組みをはじめとして、食に関する指導を継続しながら改善を図ってきたい。

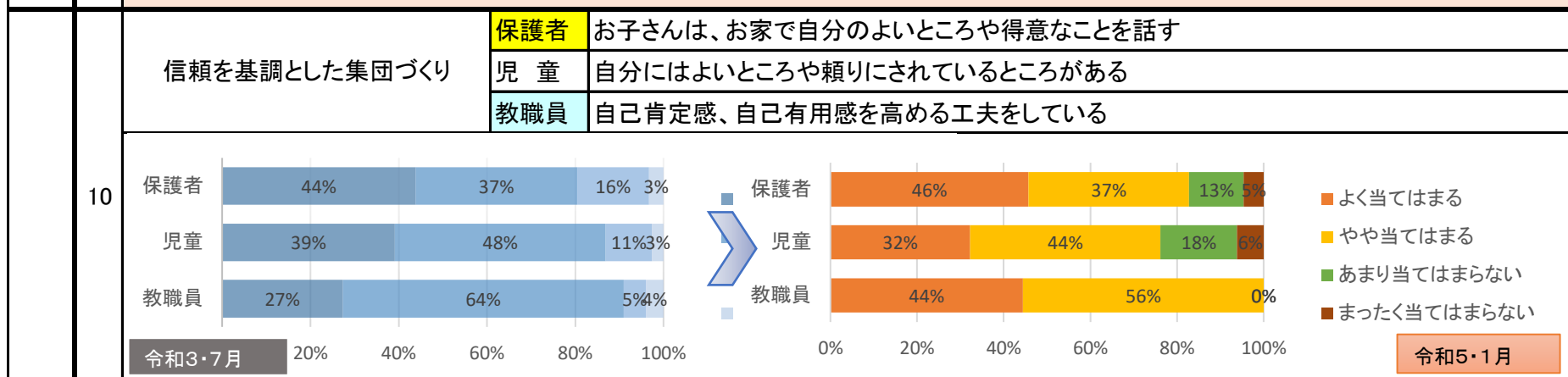
きたえる

令和4年度 後期学校評価アンケート集計

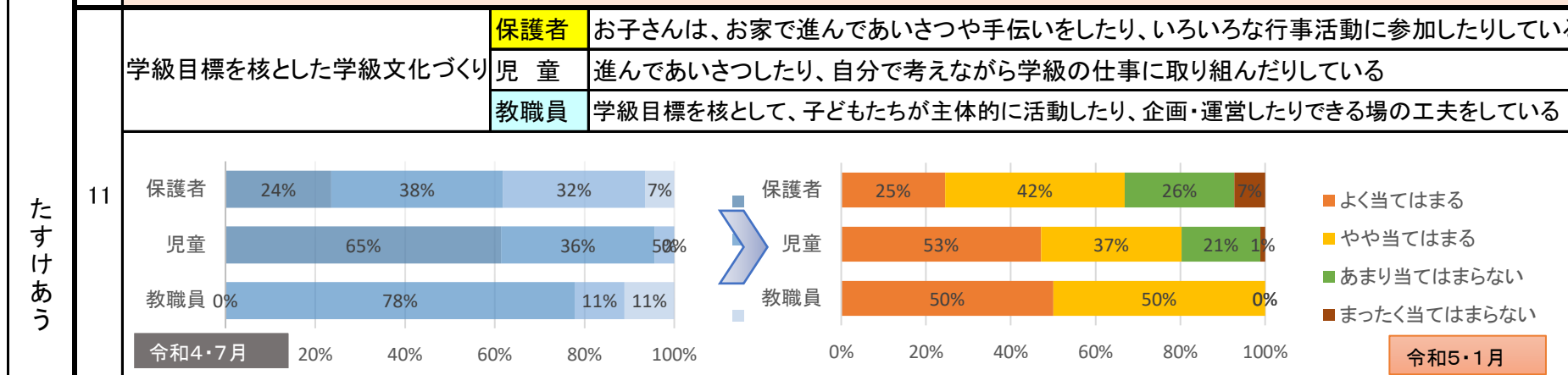
西尾市立一色南部小学校
令和5年1月実施



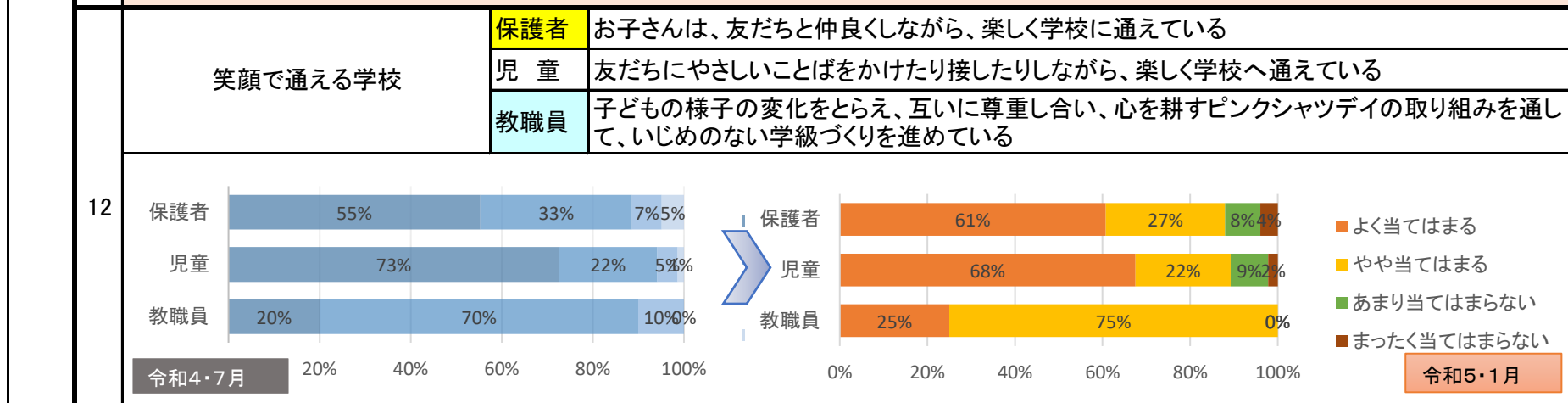
【9】 「よく当てはまる」と回答した児童の割合に対し、保護者・教職員側はそこまで満足していない。登下校の指導はもちろん安全安心な学校生活が過ごせるよう場に合った声かけや指導をしていきたい。



【10】 「まったく当てはまらない」と回答した児童の割合が1学期よりも増えている。少しでも自己肯定感がもてるよう場の設定や教職員側の工夫・手だてを考えていきたい。



【11】 児童の「よく当てはまる」満が減少している。すべての児童が係活動や委員会活動など、それぞれの場で活躍できるよう教師側の手だてを考え、それを実現できるよう取り組んでいきたい。



【12】 1学期と同じく3者ともに「よく当てはまる」「やや当てはまる」を合わせて80%を超えている。反対に「まったく当てはまらない」との回答もあり、気がかりである。心配な児童に対し、個別にしっかり対応をしていきたい。

たすけあう